

R5 年 7 月 7 日

介護事業者のみなさまへ 【介護ロボット導入の効果について】

特定非営利活動法人みんとけあ及び株式会社ウェルフェイスでは、令和 4 年度に北海道の「介護ロボット導入支援事業補助金」を活用し、職員の業務負担軽減を目的とした ICT 導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備を実施いたしました。

「介護ロボット導入支援事業費補助金交付要綱」第 8 条第 2 項第 2 2 号の定めにより、他の介護サービス事業所に対する導入効果の周知が必要となっているため、効果の内容についてお知らせいたします。

① 特定非営利活動法人みんとけあ みんとけあヘルパーステーション

導入機器 : 【介護記録ソフト】

ND ソフトウェア / ほのぼのシリーズ「Team-Kaigo」

ND ソフトウェア / ほのぼのシリーズ「NEXT CarePalette」

導入効果 : これまでは、電子化された記録と手書きの紙媒体の記録の併用であり、効率の悪さやタブレットの台数不足により業務遅延や残業等の状況がありました。また、記録の作成等に月にして平均 1,200 枚程度の紙を使用していました。

導入後は、タブレット増台により、端末の使用待ちの状況が改善されています。また、記録を完全に電子化したことで、効率よく記録作成が行えており職員の負担軽減につながっています。1 日 40 枚程度の用紙の削減もできました。

② 株式会社ウェルフェイス 小規模多機能ホーム柗の森

導入機器 : 【インカム】

ND ソフトウェア / ほのぼのシリーズ「ほのぼの TALK++」

導入効果 : これまでは2階建ての建物内で、職員を探し歩くことや、大声で呼ぶなど不便な状況でした。また、近くに職員がいなかったため、報告が後回しになる等の伝達のミスや、人を介するうちに内容違いが起こるなど、連携に不都合がありました。

導入後は、介護職員が瞬時に情報共有ができるようになり、これまで別途申し送りに費やしていた時間等が削減され、緊急時の対応もこれまでより迅速・的確に行うことができます。効率よく業務が出来ており、職員の負担軽減につながっています。